



Little Diamonds

JUNIOR YOUTH

関東クラブユース(U-15)リーグ 無敗の首位で終了

浦和レッズジュニアユースは、関東クラブユース(U-15)サッカーリーグで、9勝2分けの無敗で全日程を終了。同じ9勝2分けの柏レイソルU-15を得失点差で抑え、1位となった。

9月20日(日)のリーグ再開戦で、レッズは三菱養和巣鴨と対戦し、大野耀平のハットトリックなどで4-1と快勝。続く横浜F・マリノスジュニアユース戦は相手の攻めをしのごながら得点を重ね3-0で勝ちを収めた。

8勝1分け同士の首位攻防戦となった10月3日(土)の柏レイソルU-15戦は、カドコダイ・アシカンのゴールで先制したものの、すぐに追いつかれ、1-1で迎えた後半も両者譲らずドロー。最終戦となった10月11日(日)の鹿島アントラーズジュニアユース戦は、金野僚太の先制点を守り抜いて1-0の勝利。9勝2分け38得点10失点でリーグ戦を終えた。

柏は最終戦で横浜F・マリノスジュニアユース追浜に3-0と大勝したが9勝2分け30得点10失点にとどまり、レッズの1位が確定した。07年から始まった同リーグで、レッズジュニアユースが1位になるのは初めて。



先制点を挙げた大野耀平に駆け寄るチームメート(923 / 横浜F・マリノス戦)



再開2試合に先発した村上健太(923 / 横浜F・マリノス戦)



前半14分に同点ゴールを挙げた大野耀平(920 / 三菱養和巣鴨戦)

前半34分、カドコダイが先制ゴールを挙げる(103 / 柏レイソル戦)



前半8分、先制点を挙げた金野を祝福する佐藤(1011 / 鹿島アントラーズ戦)



2009関東クラブユース(U-15)リーグ 第8節	
2009.9.20(日) / 巣鴨養和グラウンド	
浦和レッズジュニアユース	4 前2後2 VS 前1後0 三菱養和巣鴨
GK	吉野雅大
DF	武藤 稜 西山 奨 金野僚太 水落 敬
MF	小峯洋介 村上健太 佐藤大介 繁田秀斗
FW	大野耀平 中村駿介
レッズ得点	大野(14分、34分、43分) 佐藤(69分)
* 40分ハーフ	

2009関東クラブユース(U-15)リーグ 第9節	
2009.9.23(水) / マリノスタウン	
浦和レッズジュニアユース	3 前2後1 VS 前0後0 横浜F・マリノスジュニアユース
GK	吉野雅大
DF	武藤 稜 斉藤一穂 金野僚太 水落 敬
MF	小峯洋介 村上健太(西袋裕太 / 40分) 佐藤大介(西山 奨 / 40分) 繁田秀斗 (カドコダイ・アシカン / 42分)
FW	大野耀平 中村駿介
レッズ得点	大野(16分)、中村(17分) 水落(65分)

2009関東クラブユース(U-15)リーグ 第10節	
2009.10.3(土) / レッズランド	
浦和レッズジュニアユース	1 前1後0 VS 前1後0 柏レイソルU-15
GK	吉野雅大
DF	武藤 稜 斉藤一穂 西澤秀平 水落 敬
MF	西袋裕太 金野僚太 佐藤大介(副島暢人 / 59分) 繁田秀斗
FW	カドコダイ・アシカン 中村駿介
レッズ得点	カドコダイ(34分)

2009関東クラブユース(U-15)リーグ 第11節	
2009.10.11(日) / 住友金属G	
浦和レッズジュニアユース	1 前1後0 VS 前0後0 鹿島アントラーズジュニアユース
GK	吉野雅大
DF	武藤 稜(副島暢人 / 70分) 斉藤一穂 西澤秀平 水落 敬
MF	西袋裕太 金野僚太 佐藤大介(立野峻平 / 40分) 繁田秀斗
FW	カドコダイ・アシカン 中村駿介
レッズ得点	金野(8分)

関東リーグ優勝の力を高円宮杯へ ~ 11月8日から全国かけ関東予選

得たものは形でなく選手たちの成長 ~ 関東リーグ総括 ジュニアユース監督 名取 篤



選手に指示をする名取監督

関東リーグは優勝と言ってもカップなどはありませんし、強いて言えば高円宮杯の関東予選のグループ分けで、1~5位が同じところに入らないというぐらいです。

しかし、得たものは大きかったと思います。長いリーグ戦で、一発勝負でない分、いろいろなことにチャレンジできたのが良かったと思います。FC東京戦から始まって、ギリギリの戦いをしてきましたが、終盤に追いついたり、決勝点を入れたりという試合が多かったです。

後半の4試合は大きな収穫でした。再開の三菱養和巣鴨戦は私も驚きました。通常は20人

くらいで臨むのですが、インフルエンザの影響や学校行事などが重なって、フィールドプレーヤーが12~3人しかいなかったんです(笑)。

そういう状況のなかで選手たちには「クラブユース選手権まで出番のなかった選手にとって試合に出られるチャンス。でも出られるだけでは意味がない。前に出ている選手たちからポジションを奪うつもりでやった方がいい」と話したのですが、そのとおりの結果を出してくれました。ですから、その後の試合でもメンバーを替える必要がありませんでした。

常に言っていることですが、試合に出ている11人だけでなく、出ていない選手たちがど



終了間際に決勝ゴールを決め、1-0で競り勝った横浜FC戦

まで頑張れるかがチームが強くなっていくカギです。夏のクラブユース選手権で名古屋グランパスに負けて、悔しいと思ったら今以上にチーム力を上げないと勝てないのだし、そのために



終盤の4試合、右サイドバックを務めた武藤稜

は個人が強くなるしかありません。そういうことを言ってきた成果が出たと思います。無敗対決だった柏戦も、最後まで自分たちらしい戦いができましたし、リーグ残留がかかって必死でやってきた鹿島相手にもしっかり戦えました。80分間、パフォーマンスを落とすことなくフィジカルのにも強くなりました。また、ずっと試合に出ている選手も、経験を積んでぜひ伸びたいと思います。

形として何も残るものがない大会ですが、トップの成績で、しかも無敗で終わられたというのは、全国大会に出場するのと同じような経験ができたと言っていいでしょう。11月に高円宮杯関東予選が始まりますが、レッズらしい、全員がボールにかかわれるようなサッカーができれば、やれると思います。一発勝負なので何があるかわかりませんが、何があっても動じずに、自分たちのサッカーができるような経験をさせていきますから、あまりプレッシャーを感じずにやってほしいです。私自身、楽しみにしています。

2009年度関東ユース(U-15)サッカーリーグ最終順位表

順位	チーム	勝点	引当	負け	得点	失点	得失差	
1	浦和	29	9	2	0	38	10	+28
2	柏	29	9	2	0	30	10	+20
3	東京V	25	8	1	2	33	19	+14
4	横浜FM	19	6	1	4	28	18	+10
5	横浜FM追浜	19	5	4	2	23	16	+6
6	三菱養和巣鴨	15	5	0	6	16	20	-4
7	ジェフ習志野	15	5	0	6	15	21	-6
8	横浜FC	13	4	1	6	22	23	-1
9	F東京深川	10	3	1	7	11	26	-15
1	鹿島	7	2	1	8	11	28	-17
0	川崎F	5	1	2	8	20	36	-16
1	大宮	3	0	3	8	12	32	-20

浦和レッズジュニアユースの全成績

4.19	4-1	F東京深川
4.25	1-0	横浜FC
5.3	8-1	東京V
5.17	6-1	川崎F
6.7	5-1	大宮
6.14	2-1	ジェフ習志野
6.20	3-3	横浜FM追浜
9.20	4-1	三菱養和巣鴨
9.23	3-0	横浜FM
10.3	1-1	柏
10.11	1-0	鹿島

高円宮杯関東予選 組み合わせ決まる

高円宮杯第21回全日本ユース(U-15)選手権関東予選の組み合わせが10月24日(土)決まった。予選は40チームが5ブロックに分かれてそれぞれ8チームによるトーナメント戦で行われ、各ブロックの1位のみが全国大会に進める。レッズジュニアユースは11月8日(日)のジェフ市原・千葉U-15戦を皮切りに予選突破を目指す。

高円宮杯第21回全日本ユース(U-15)選手権関東予選Aブロック組み合わせ

浦和レッズ
ジェフ市原・千葉
鹿島アントラーズノルテ
高崎FC
前橋FC
クマガヤSC
VITORIA KAMUI
鹿島アントラーズ

- ・1回戦
11月8日(日) 11:00
/ 埼玉スタジアム
- ・2回戦
11月14日(土) 11:00
/ 前橋グラウンド
- ・3回戦
11月15日(日) 12:00
/ 前橋グラウンド

厳しいポジション争いに勝つ

水落 敬 (3年)

クラブユース選手権では試合に出られなくて悔しい思いをしました。再開した関東リーグで左のサイドバックで使ってもらってからポジション争いに絡んで、出られるようになりました。自分ができるんだ、と自信を持っています。一度でも練習を休むとポジションがなくなるくらい出場争いが厳しいので、休まないようにして頑張っています。

高円宮杯は中学生最後の大会ですから、自分自身がレベルアップしたいですし、将来につながるような大会にしたいです。



関東予選、最初から全力で

金野僚太 (3年)

今年の最初はスタメンを落して、気持ちも落ちてしまったところがありますが、クラブユースのスタメンに復帰できて、全国を経験してからは気持ち的にも楽にできていて、この頃は良いプレーもできているかな、と思います。左右のサイドバックでもサイドハーフでも使われますが、いろいろなところで使ってもらえるというのは選手として良いことだと思います。

クラブユースの関東予選で9位決定戦に回ったこともみんな忘れていないので、関東予選の最初から全力で戦います。



第20回高円宮杯全日本ユース(U-18)選手権 浦和レッズユース、ベスト8で終了

第20回高円宮杯全日本ユース(U-18)サッカー選手権に出場していた浦和レッズユースは、グループリーグ3位で決勝トーナメントに進み、1回戦で東京ヴェルディユースを破ったが、準々決勝で横浜F・マリノスユースに敗れ、ベスト8で大会を終えた。

グループリーグ2勝を挙げていたレッズユースは、9月19日(土)埼玉スタジアム第2グラウンドで本年度高校総体準優勝の米子北高校と対戦。1-1で迎えた後半、2点を奪われ1-3で第3戦を落とした。グループFの3位となったが、勝点6得失点差0は、3位チームの中では1位の成績で、レッズは決勝トーナメントに進出した。

9月21日(月)茨城県のひたちなか市総合運動公園陸上競技場で行われた決勝トーナメント1回戦は、東京ヴェルディユースとの対戦。序盤は東京Vの個人技に攻め込まれる場面もあったが、集中した守備でゴールを割らず、後半5分、右サイドで岡本拓也の縦パスを受けた矢島倫太郎が先制ゴール。得意のドリブルでそのまま持ち込むかと思われたが、礪部裕基にいったん預けて自分がフリーになり、良い位置で再び受け取ってシュート、というきれいな展開だった。その後は2点目こそ奪えなかったが攻撃の手も緩めず、守ってはゴール前で身体を張って、グループリーグ10得点の東京Vユースを完封した。

準々決勝は10月3日(土)同じ会場で横浜F・マリノスユースと対戦。相手の攻撃をよくしのいでいたが、前半40分に先制点を奪われ、同点を目指す後半も横浜FMに主導権を握られて、42分に決定的な2点目を決められた。



前半44分、岡田昌巳にパスを出す高木 凜(左) 岡田はヘディングで同点ゴールを決めた(9/19 / 米子北高校戦)



後半5分、先制ゴールを挙げた矢島倫太郎(中央) 右は鈴木大輝、左は岡田昌巳(9/21 / 東京Vユース戦)



完封勝ちに貢献した池西希(右) 左は大里康朗(9/21 / 東京Vユース戦)



礪部裕基(10/3 / 横浜FMユース戦)



若井祥吾(10/3 / 横浜FMユース戦)



全員が最後まで集中したプレーを続け勝利した(9/21 / 東京Vユース戦)

高円宮杯第20回全日本ユース(U-18)選手権	
1次ラウンド第3日 グループF	
2009.9.19(土)13:20 / 埼玉スタジアム第2G	
浦和レッズユース	1 前1 後0 VS 前1 後2 3 米子北高校
GK	中村 隼
DF	森田健介(藤野友則 / 84分) 畑本時央 広瀬健太 岡本拓也
MF	池西 希 岡田昌巳 小峰郁海(若井祥吾 / 80分)
FW	菅本啓太 高木 凜(礪部裕基 / 74分) 矢島倫太郎
レッズ得点	岡田(44分)

高円宮杯第20回全日本ユース(U-18)選手権	
ラウンド16(決勝トーナメント1回戦)	
2009.9.21(月)11:00 / ひたちなか市総合運動公園陸上競技場	
浦和レッズユース	1 前0 後1 VS 前0 後0 0 東京ヴェルディユース
GK	中村 隼
DF	岡本拓也 畑本時央 池西 希 大里康朗
MF	石沢哲也 岡田昌巳 若井祥吾
FW	矢島倫太郎(広瀬健太 / 89分) 礪部裕基 鈴木大輝(菅本啓太 / 89分)
レッズ得点	矢島(50分)

高円宮杯第20回全日本ユース(U-18)選手権	
準々決勝	
2009.10.3(土)13:20 / ひたちなか市総合運動公園陸上競技場	
浦和レッズユース	0 前0 後0 VS 前1 後1 2 横浜F・マリノスユース
GK	中村 隼
DF	岡本拓也 畑本時央 池西 希(広瀬健太 / 89分) 大里康朗
MF	石沢哲也 岡田昌巳(菅本啓太 / 77分) 若井祥吾
FW	矢島倫太郎 礪部裕基 鈴木大輝(矢島慎也 / 70分)

試合での積極性が出た高円宮杯

堀 孝史 監督

高円宮杯は、予選から良い相手とできるグループだったので、選手たちはいろんな経験ができたと思います。もう少し先まで行ければ良かったですが、最後の横浜M戦は完全に力負けだったと思います。

大会を通じて選手たちから感じたのは、技術的なことよりも、試合の中での積極性だとか、チームのまとまりだとかが出てきたこと。それと相手に対して勝ちたいという気持ちがプレーに出たり、失点したくないという気持ちがみんなの集中につながったり、そういう部分が大きかったと思います。

いつも同じようにやろうとは言っていますが、相手との力関係で多少守備の時間が長くなるとか、相手に合わせた守備をしなくてはいけなこともあります。そういうところで粘り強くできて、チャンスに点を決めることができたと思います。過去にやっていた相手に対してネガティブにならずに積極的にやれたことは評価できます。FC東京や東京ヴェルディ戦はそういう試合だったと思います。あとは、個人の部分でもう少し強くしたいということはありません。

今後は、高校3年生については進路など精神的な問題も出てきますが、練習に来てしっかりやればJユースの試合にも出ることができます。その辺のタフさみたいなものも必要になってきます。プレーだけでなく、気持ちの部分でも個性をしっかり出していけるようになればいいですし、この時期は人間的にも成長できるチャンスだと思います。今後もサッカーを続けていくための良い土台を作っていって欲しいです。

Jユースカップ 1勝1敗でスタート マリノスへのリベンジはおあずけ

浦和レッズユースのJユースサンスターニックカップ・第17回Jリーグユース選手権の予選リーグが始まり、このほど2試合を行った。

10月17日(土)、大原サッカー場で行った横浜FCユース戦は、石沢がPKを決めて先制。後半には若井祥吾が2点目を決めて2-0で快勝した。しかし25日(日)、マリノスタウンで行った横浜F・マリノスユース戦は、1-5で敗れた。高円宮杯全日本ユース(U-18)選手権で横浜FMユースに敗れたリベンジは、ホームでの予選リーグまでお預けとなった。

Jユースカップは、J1、J2の34クラブ(カターレ富山、ファジアーノ岡山は不参加)が8グループに分かれて、各グループ内でホーム&アウェイ方式による2回戦総当たりリーグ戦を行い、上位2チームが決勝トーナメントに進む。レッズユースは栃木SC、川崎F、横浜FM、横浜FCと共にDグループに所属し、予選リーグ全8試合を行う。

決勝トーナメントは、予選リーグを勝ち抜いた16チームに、日本クラブユースサッカー連盟代表の4チームを加えた20チームで12月6日(日)から始まり、決勝は12月27日(日)、長居スタジアムで行われる。



西山航平
(1017 / 横浜FCユース戦)

中島聡志
(1017 / 横浜FCユース戦)



中村 隼
(1025 / 横浜FMユース戦)



広瀬健太(1025 / 横浜FMユース戦)

Jユースカップ 予選リーグ日程

- ・11月 1日(日) vs 川崎F (11:00・埼玉スタジアム第2グラウンド)
- ・11月 3日(火・祝) vs 栃木SC (13:30・栃木県総合運動公園陸上競技場)
- ・11月 8日(日) vs 横浜FC (12:00・しんよこフットボールパーク)
- ・11月14日(土) vs 栃木SC (14:30・レッズランド)
- ・11月15日(日) vs 川崎F (12:00・川崎フロンターレ麻生グラウンド)
- ・11月22日(日) vs 横浜FM (14:00・埼玉スタジアム第2グラウンド)

決勝トーナメント

- 1回戦: 12月 6日(日) / NACK5スタジアム大宮、西が丘サッカー場
- 2回戦: 12月12日(土)または13日(日) / 出場クラブホームスタジアム等
- 準々決勝: 12月20日(日) / ベストアメニティストジアム、長居第2陸上競技場
- 準決勝: 12月23日(水・祝) / 大阪長居スタジアム
- 決勝: 12月27日(日) / 大阪長居スタジアム

Jユースカップ予選リーグDグループ第1戦	
2009.10.17(土)15:00 / 大原サッカー場	
浦和レッズユース	2 前1 後0 VS 前0 後0 横浜FCユース
GK	中島聡志
DF	西山航平 畑本時央 大里康朗 若井祥吾(皆川孝之 / 84分)
MF	池西 希 石沢哲也(野崎雅也 / 88分) 岡田昌巳(高田拓弥 / 77分)
FW	矢島倫太郎(鈴木大輝 / 77分) 磯部裕基(矢島慎也 / 77分) 高木 凜
レッズ得点	石沢哲也、若井祥吾

Jユースカップ予選リーグDグループ第2戦	
2009.10.25(日)13:30 / MM21	
浦和レッズユース	1 前1 後2 VS 前3 後5 横浜FMユース
GK	中村 隼
DF	大里康朗 畑本時央 池西 希(矢島慎也 / 63分) 若井祥吾(西山航平 / 35分)
MF	広瀬健太 石沢哲也 岡田昌巳(高田拓弥 / 85分)
FW	矢島倫太郎 磯部裕基 菅本啓太(鈴木大輝 / 45分)
レッズ得点	石沢哲也

3年生に最後の恩返しを

高木 凜(2年)

高円宮杯で負けた横浜FM戦には出られなくて、ベンチで見ていたので、Jユースカップではチームの結果に自分がかかわれるようにしていきたいです。それでチームが優勝できればいいと思います。3トップの真ん中をやることが多いですが、ポジション的に慣れているし、両側のFWがうまいので、やりやすさはあります。自分自身は点にあまり絡めていないので納得はしていません。そこを自分の課題として取り組んでいきます。3年生にはこれまで迷惑をかけてきたので、最後の大会で、恩返しをしたいと思っています。



横浜FMを決勝で破りたい

畑本時央(2年)

これまでケガもあって試合に多くは出ていませんが、プリンスリーグには全然満足していませんし、高円宮杯ももっと上に行けたんじゃないかと思うんですが、横浜FM戦では、勝ちたい気持ちが相手の方が強かったのかもしれない。いつもどおりのプレーをすれば勝っていけると思います。勝ちにこだわりながらもそういうところを大事にしていきたいと思っています。Jユースカップで決勝トーナメントに上がれば、横浜FMと決勝で当たることになるんじゃないかと思うので、今度は勝ちたいです。



行けるところまで行きたい

若井祥吾(2年)

今年のチームはクラブユース選手権に出られなくて、苦しかったんですけど、高円宮杯ではあそこまで行けるとは思っていませんでしたので、まずはまずでした。Jユースカップは、先輩たちも最後の試合だし、行けるところまで行きたいです。自分のポジションはいろいろだし、左サイドバックを初めてやったときは悩みもりましたが、今はだいぶ慣れてきました。まずは試合に出ることが目標です。1年生も出てくると思うので、引っ張っていくことも求められるかもしれませんが、まだ自分のことで精いっぱいです。



自分が点を取りに行きたい

矢島慎也(1年)

これまで途中交代でけっこう出してもらって、学ぶことは多かったんですが、点に絡めていないので、Jユースカップでは自分でも点を取りに行きたいです。予選リーグは強いチームが多いので難しいです。ユースに上がってすぐは、寄せが早くてびっくりして何もできません。最初に比べたら、当たりでも負けることは少なくなりましたし、ゲームを作っている場面もあるので、もっと上げていきたいです。ほかの1年生もだいぶ試合に出てきて、出場争いが厳しくなりますが、その方が面白いと思います。

